



国民のために働く内閣始動！

LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主 星野 つよし
自由民主党神奈川県第12選挙区
(藤沢・寒川)支部 支部長
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢 973
相模プラザ第3ビル1F
Tel:0466-23-6338 Fax:0466-23-6339



LINE@友達登録は

こちら →



「国民のために働く内閣」スタート！



菅義偉内閣が発足し、『国民のために働く内閣』がスタートしました。菅総理は自民党総裁選などで「役所の縦割り、既得権益、悪しき前例主義を打破して規制改革を進めていく」と述べており、本格的な改革路線を力強く前進してまいります。（右欄へ続く）

携帯電話をより利用しやすい環境を



携帯電話の通信料金の引き下げにもこれまで以上に大胆に取り組みます。菅総理は「大手3社が寡占状態でものすごい利益を上げている。(市場の)競争を働かせる」と述べています。

一部上場企業の平均利益率は約6%ですが携帯大手3社の平均利益率は約20%もあります。総務省によると、世界6都市の標準的な携帯料金で東京(NTTドコモ)は、2番目に高く、大容量プランでは最も高くなっています。菅総理が官房長官時代の2018年に「4割下げられる」と表明した肝煎り政策です。



まずは「行政の目詰まり」を打破する

喫緊の課題は、新型コロナウイルス対策の感染拡大時に浮き彫りになった「行政の目詰まり」を打破することです。まず、行政のデジタル化です。生活支援のための給付では、米欧に比べて迅速に給付できませんでした。マイナンバーカードの普及と利用が遅れ、行政サービスのデジタル化が進んでいないからです。菅総理は「マイナンバーカードがあれば役所に行かなくても24時間、365日できるような方向にしたい」と主張、内閣府や総務省、経済産業省などがバラバラに取り組む状況を問題視してきました。そこで、各省の政策を一元化する「デジタル庁」を新たに創設します。



デジタル化でより快適に！

現在進行している各種のGoToキャンペーンをはじめ生活の中でデジタル化することによってより快適な社会環境を作ってゆきたいと考えています。携帯電話料金の引き下げなども、デジタル化によるサービスの充実と国民の皆さんがより便利で快適な生活ができるようにするための一助となるものです。

当然、セキュリティ面での対策も十分に検討しなければなりません。時間を要する場合がありますが、一つの行政サービスをもっと簡易にご利用いただけるように施策を実行してまいります。

サービスがご利用いただけるようになった際には、即座にご利用いただけるように、マイナンバーカードの申請につきましてもお早めにご協力ください。

デジタル改革 Idea Box

<https://ideabox.cio.go.jp/>

デジタル改革に向けたご意見を募集しています

10/15にはスマートフォン対応の正式版をリリースします



縦割りの
110番

規制改革・行政改革に関する提案

縦割り110番 ご意見お寄せください！

https://form.cao.go.jp/kokumin_koe/opinion-0009.html

相模川の洪水対策で新手法

台風シーズンが到来し、今年も豪雨災害の被害が心配される時期となりました。今回政府が洪水への対処能力を大幅に高める対策をまとめましたので説明させていただきたいと思います。昨年の台風19号では、5県6カ所のダムで決壊を防ぐための緊急放流をしましたが、緊急放流は下流の河川を氾濫させる危険があります。では、どうするのか。ダムには治水ダムのほかに水力発電用のダム、農業用水用のダムなどがあり、それぞれ、国土交通省、経済産業省、農林水産省などがバラバラに管理をしておりました。今回は政府が全てのダムを一元管理することで「洪水調整容量」を46億立方メートルから91億立方メートルまで増やすことになりました。八ッ場ダムの有効貯水容量は0.9億トンで換算しますと八ッ場ダム50個分に相当します。神奈川県武蔵小杉などの浸水被害が出ました多摩川水系で新たに3600万立方メートルの容量を確保しました。昨年の台風19号と同程度の台風ならば、浸水被害を回避できます。精緻化した天気予報をもとに1日から3日前から事前放流を行い、ダムの水位を大幅に引き下げ、大雨に備えます。天気予報の精緻化ですが、気象庁の気象予測モデルを基準と判断しますよう気象庁は気象衛星「ひまわり」のデータや最新式レーダーの導入に加え、新たなAI技術の活用も進めていきます。

便利で役立つマイナンバーへ

現在、全ての国民に12桁のマイナンバーが付与されていますが、マイナンバーカードの普及率は、7月1日現在で17.5%にとどまっています。今回の定額給付金の申請でもオンラインで受け付けたデータを住民基本台帳と自動照合するシステムの改修ができていない自治体がほとんどでした。背景には、中央省庁間の縦割り行政とシステム整備などを自治体任せにしてきたことと、利用者目線を欠いた制度設計で、利便性の向上が見られなかったことがあげられます。政府は、マイナンバー制度とマイナンバーカードを行政のデジタル化を進めるための基幹インフラに位置付け、システム標準化などのための工程表を年内に作成します。

利便性の向上として、運転免許証や国家資格証をデジタル化させて、マイナンバーと連携させることや、マイナンバーカードをスマホに取り込み、生体認証機能を使って金融機関での本人確認や役所での行政手続きなどに利用できるようにすることなど幅広く検討されています。9月からは、マイナンバーカードと連携した電子マネーやQRコードなどでキャッシュレス決済をすると最大5000円分のポイントが付く「マイナポイント」が始まります。来年3月からはマイナンバーカードを健康保険証としても使えるようになります。安心して使え、便利で役に立つマイナンバーに向けて今後もさらに努力していきます。

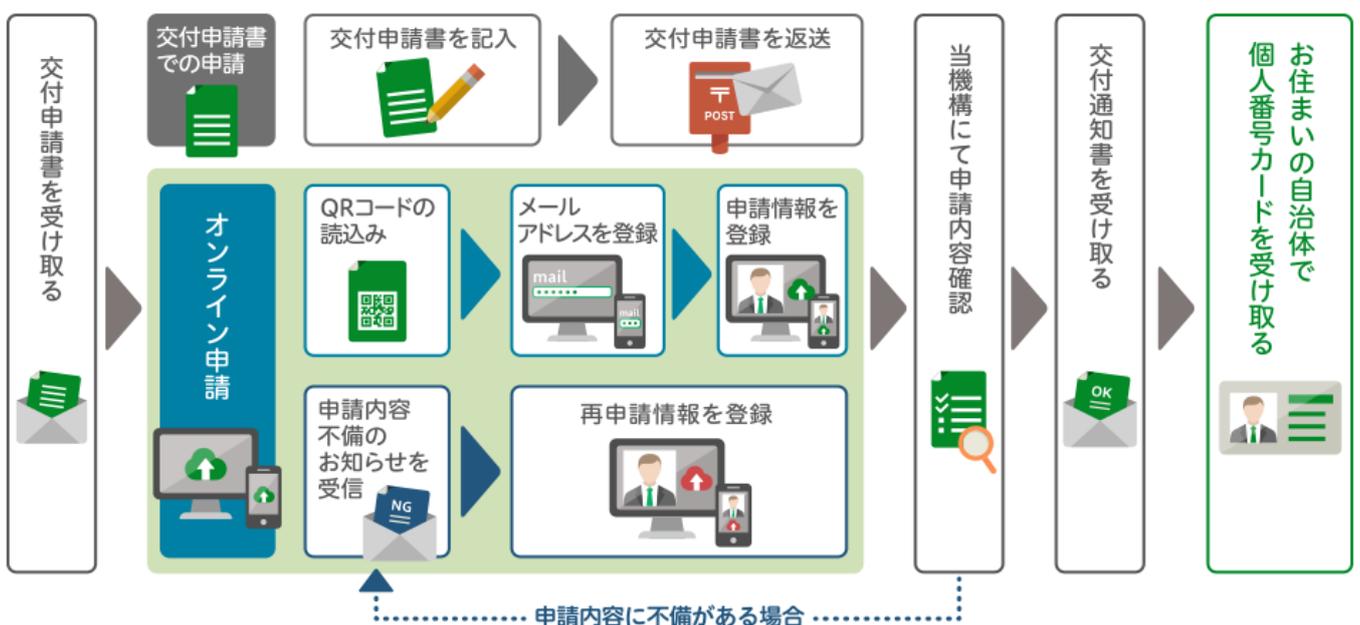
下土棚遊水地の整備も後わずか！

県議の時代から進めていた下土棚遊水地の堤防整備が完了し、全体の9割の貯留量が確保されました。皆様の安全安心な生活の一助となるもので、今年度中には残りの工事を完了する予定です。今後も時間があかっても安全な藤沢市寒川町を守るために一つ一つ前進させてまいります。

マイナンバーカードの申請はお早めに！

定額給付金の手続きの際には、マイナンバーの申請で藤沢市役所も大変な混乱となりました。これからの行政サービスを迅速にお受けいただくためにも早めの申請にご協力お願いいたします。

マイナンバーカードはパソコンやスマートフォンからも申請できます ご利用ください



※ 地方公共団体情報システム機構 HP オンライン申請手順より抜粋